



地域文化の振興に貢献

地域文化功労者表彰を市長に報告・12/5

No.6

小奴可地区芸能保存会が文部科学大臣表彰を受け、同会の和田満福会長と広谷昌吾事務局長が木山耕三市長に報告しました。同会が受けた「地域文化功労者表彰」は、芸術文化の振興や文化財保護に尽力するなど、地域文化の振興に功績のあった個人や団体を表彰するものです。昭和28年の結成以降、国の重要無形民俗文化財「塩原の大山供養田植」の保存伝承と活用に努めてきた同会の、伝統の継承と普及への取り組みが、地域文化の振興に貢献したと認められたものです。

和田会長は「大山供養田植が、地域外で生活していても『見に帰ろう』と思える『ふるさとの誇り』になれば」と話していました。



▲和田会長(中)と広谷事務局長(左)から木山市長(右)に表彰の報告

音楽で地域を盛り上げる

田森ミュージックコンサート・12/17

No.8

田森自治振興センターで、第7回田森ミュージックコンサートが開催されました。このコンサートは「音楽の輪を広げよう」をテーマに、平成23年から毎年開催されています。

当日は、地域の若者や東城高校の生徒を中心とした10組のバンドが、ロックやフォークソングなどの楽曲を次々に演奏しました。各バンドの個性を出した演奏や演出に、会場内は熱気に包まれ、田森地区内外から集まった大勢の観客は盛り上がっていました。また、会場では、地域の方の協力で、カレーライスやフランクフルト、大判焼きなどが振る舞われました。実行委員長は今岡渉さんは「音楽で輪を広げ、地元田森をこれからも盛り上げていきたい」と話していました。



▲バンドの熱演に会場が沸いた

師走の庄原を力走

第66回庄原市スター式駅伝大会・12/3

No.5

庄原に冬の訪れを告げる恒例の庄原市スター式駅伝大会が、上野総合公園陸上競技場を発着点に6区間、男子16.0キロメートル、女子15.6キロメートルで開催されました。本年は、中学、高校、職域、一般など7部門に、70チーム420人が出場し、健脚を競いました。晴天の中、2チームの大会新記録と2部門で3つの区間新記録、1つの区間タイ記録が出る白熱のレースが展開され、ランナーは沿道からの熱い声援に背中を押されながら、力走しました。

参加者は「駅伝は自己への挑戦でもあるが、たすきをつないだときの達成感が魅力。一人では味わえない、一緒に走った喜びがある」と話していました。



▲第1区の走者が陸上競技場から元気に駆け出した

この日を楽しみに

八鳥ふれあいサロン・12/5

No.7

西城町にある八鳥公民館で八鳥ふれあいサロンが開催され、地域の住民約40人が参加しました。

会では、東城町在住の女性バンド「プリランテ」による演奏が行われ、参加者はオカリナとキーボードによる美しい旋律に耳を傾けました。また、演奏に合わせて「ふるさと」や「冬の星座」などの懐かしい曲を歌い、楽しい時間を過ごしました。昼食では、地元の有志が前日から準備した弁当が振る舞われ、参加者は地域で収穫した野菜や米を使った料理を味わいました。

参加者は、「この日を1カ月前から楽しみにしていた。みんなが集まり、おいしい弁当が食べられてうれしい」と話していました。



▲演奏に耳を傾ける参加者

廃校舎を新たな価値へ

廃校リノベーション(旧)小鳥原小学校完成披露式典・11/23

No.2

「ひろしまさとやま未来博2017」のシンボルプロジェクトとして実施された「廃校リノベーション」の完成披露式典が西城町の旧小鳥原(ひととばら)小学校で行われました。

世界的建築家の隈研吾氏監修のもと、「山々に囲まれた、木と竹の学校」をテーマに改修が行われ、校舎の外には自然と人を結ぶ木のデッキが、教室には地域内外の方々で作った竹すだれが設置されました。

当日は地元の西城川子ども太鼓による太鼓や西城町神楽愛好会による神楽の上演が行われ、地元住民など約270人が来場し、にぎわいました。今後は都市部の住民との交流スペースとして活用される予定です。



▲完成披露式典でテープカットをする木山市長ら

学校と地域の連携のために

読書活動に関わる地域ボランティア交流会・12/7

No.4

美古登小学校で、県教育委員会主催の「地域ボランティア交流会」が開催され、県内の読書活動に関わるボランティアや学校関係者40人が交流しました。

児童8人による読書本の紹介、読書ボランティア「ダンボの会」による読み聞かせの後、学校司書とダンボの会から、取り組みや学校との連携についての紹介がありました。その後、参加者はグループに分かれ、地域での取り組みや役割、活動する中での課題などについて意見交換を行いました。

参加者からは「さまざまな立場の人が交流できた貴重な場だった」「互いの取り組み実態や悩みが共有できる内容の濃い会だった」という声が聞かれました。



▲それぞれの取り組みを語り合う参加者

庄原と首都圏をつなぐ

ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト現地実習・11/23~25

No.1

地域貢献に高い意欲を持つ首都圏の若い世代が、現地での体験や交流を通じて中山間地域の課題解決に向けたプランを作成する「ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト」の現地実習が市内で行われました。

昨年は4人の参加者が築70年の古民家を活用し、「庄原と外の人・モノ・コトを繋ぐ拠点」をつくるプランを提案しました。本年度はこのプロジェクトを一緒に作る仲間6人が訪れ、川北町の「暮らし宿お古」で、なめこの植菌作業などを体験したほか、庄原暮らしお試し体験施設「くちわの家」で移住者や地域の方々との意見交換を行いました。参加者は今後首都圏でのグループワークを経て、1月に最終プランを発表する予定です。



▲植菌作業の体験をする実習生

農業の発展に寄与

農事功績者表彰を市長に報告・11/15

No.3

東城町の高柴順紀さんが、公益社団法人日本農会の農事功労者として緑白綬有功章を受章し、木山耕三市長に報告しました。

高柴さんは、水稲と和牛の複合経営が多い地域で初めてキクの栽培に取り組み、露地栽培の夏ギクにおいて、需要期の安定生産・出荷のための電照栽培の導入、曲がり防止ネットや濡れ花の乾燥機の開発などの独自技術により、課題を解決してきました。また、東城菊組合の組合長として長年組織をけん引し、経験の浅い生産者には自らの栽培技術資料で指導するなど、後継者の育成にも貢献しています。

この素晴らしい栽培技術が引き継がれ、庄原市の農業がますます発展していくことを期待します。



▲受章を報告する高柴さん(左)と木山市長(右)



グラウンドゴルフで交通安全啓発

交通安全推進地域交流グラウンドゴルフ大会・11/23 No.10

庄原地区交通安全協会口和分会・高野分会・比和分会が、地域間の交流を深め広域の交通安全推進を図るため、初の試みとなる交通安全推進地域交流グラウンドゴルフ大会をグリーンサーキット高野で開催しました。

時折小雪が舞う寒い一日でしたが口和・高野・比和地域から100人を超える参加があり、会場ではホールインワンが出る度に歓声が上がっていました。

主催した交通安全協会高野分会の井上清憲会長は「この大会が、広域で交通安全の意識を高める機会になればうれしい。来年も交通安全の啓発につながる企画をしたい」と話していました。



▲真剣にホールポストを狙う参加者

自然環境の保全を願って

豊かな森・川・海づくり植樹祭・11/18 No.9

高茂町にある水源林造成事業地で「第12回豊かな森・川・海づくり植樹祭」が開催され、口和町の金田自治会と県内の林業、漁業などの関係者160人が参加しました。

主催の豊かな森・川・海づくり植樹祭実行委員会は、広島県にある豊かな森、豊かな川、豊かな海から形成されている多様で美しい自然環境の保全に関心を持ってもらうため植樹活動を行っています。

会場では、参加者全員でヒノキ500本・ヤマザクラ20本を植樹した後、木材を使った工作ができる森林教室を実施しました。参加者は活動をとおして、森から流れ出た水が川を経て海に流れていき、水域に生きる生物の命を育むことなどを学びました。



▲“おじいちゃん”と一緒にヤマザクラを植樹

10周年を地域とともに

灰塚ダム10周年記念イベント・11/26 No.12

「灰塚ダム10周年記念イベント～総領の秋まつり～」が庄原市ふるさとセンター田総で開催され、約200人が来場しました。

オープニングでは灰塚ダム関連講演があり、広島県立総合技術研究所がハイツカ湖に生息する陸封アユの保全に向けた研究成果を報告しました。中国放送野球解説者（元広島東洋カープ選手）の安仁屋宗八さんとフリーアナウンサー桑原しおりさんのトークショーでは、二人の息の合った軽快なトークで会場は大いに盛り上がりました。また、比婆荒神神楽の上演では、ダム関連施設「なかつくに公園」の水田で作付けしたもち米を加工した祝餅も振る舞われ、来場者は、地域とともに灰塚ダム管理運用開始10周年を祝いました。



▲会場を沸かせる桑原しおりさん（左）と安仁屋宗八さん（右）

ニュースポーツを楽しむ

比和自治振興区主催のバグゴ大会・11/29 No.11

比和自治振興センターで、比和自治振興区主催のバグゴ大会が開催されました。

バグゴとは、離れた場所にあるボードの穴に目掛け、ピンバッグという四角いお手玉のようなものを投げて得点を競うニュースポーツです。激しい動きが少なくルールも簡単で、子どもから高齢者まで誰もが一緒に楽しめます。当日は幅広い年齢層の方が参加。接戦が繰り広げられ盛り上がりを見せていました。

当日指導していたスタッフは、「町内では一昨年から定期的にバグゴの体験会を開催しており、自治振興センターでは道具の貸し出しも行っているのもっと多くの方にこのスポーツの存在を知って楽しんでもらいたい」と話していました。



▲ボードの穴を狙ってピンバッグを投げる